

日光街道を歩こう会 (OP 越谷宿)

日時：平成31年5月31日(金) 9:05

集合場所：武蔵野線新秋津駅

参加者：16名、天候：曇り

見学場所：コース全長約 約5.5km
新秋津⇒南越谷・新越谷⇒越谷駅⇒八幡神社⇒旧家(田中米穀店、行徳屋、横田診療所)
⇒有瀧家のタブノキ⇒浅間神社⇒越ヶ谷宿の旧家(木下半助商店、塗師屋、鍛冶忠、会田本陣跡、四つ目屋、河内屋)⇒天獄寺⇒久伊豆神社⇒建長元年板碑⇒越ヶ谷御殿跡⇒越ヶ谷宿の旧家(会田金物店、大野家、遠藤家の蔵、米長乾物店)
⇒本陣跡⇒かごの屋⇒香取神社⇒北越谷駅
⇒新越谷・南越谷⇒新秋津経由 所沢

山本さんのコメント

私が越谷宿を歩いた時は越谷から5駅13kmでしたが、そうは出来ないの、その中が一番良いところを歩いて貰いました。そして丁度良いところに昼食場所がありラッキーでした。

実は6月4日に宇都宮を出発して1泊して日光まで行き日光街道を完歩してきました。ただ、背負ってた荷物が重く二日間で7万歩はちょっときつかったです。次回、粕壁宿は来年の5月にして樹齢1200年の牛島の藤を入れようかなあ。

参加者の方のコメント

昔をしのびながらの越谷宿の散策を堪能いたしました。神社仏閣の由来や各所での大木や植物の解説など大変勉強になりました。

特に天獄寺の黒門や赤門、久伊豆神社境内の藤棚や手水舎の登竜門の彫り物、香取神宮本殿の彫刻の見事さなど見どころ満載でした。

いつものことですが皆さんとコミュニケーションを図りながらの史跡めぐりは大変為になりました。ありがとうございました。

日光街道を歩こう会は今回は越谷宿で、前回は草加宿、次回は粕壁宿の予定とのと、草加・越谷宿では日光街道と歴史ある街並みを堪能しました。次回は来年の5月とのこと、大いに期待しています。この会の最終としては是非、日光か宇都宮近辺で一泊して、日光街道の杉並木を散策することを提案します。山本さんにはお手数をかけることは重々承知していますがよろしくお願ひします。 居田 記

参加者の方のコメント

五街道の一つ日光街道は言わずと知れた大権現様までの140kmの街道です。越谷宿はまだ序の口です。鍛冶屋、荒物屋、洋風木造ペンキ塗り病院、蔵造りの商家、等… 全てが子供の頃の所沢の町並みと面影が重なり少しセンチメンタルになりました。

今回も女性陣の笑顔が[彩ちらし寿司セット]の籠の中にこぼれ落ちそうでした。

余談ですが「久伊豆」ひさいず神社を、くいずとも読めるので、クイズマニアに有名になったとは面白い話ですね。

参加者の方のコメント

国登録有形文化財の木下半助商店の店舗内部の壁から落ちた燕の巣を、

板に乗せて、その四隅を天井から針金で吊っていた、優しい思い遣りに感服。

燕の巣落ちて吊りやる商家かな

(季語：燕の巣=春)

参加者の方のコメント

心配していた気温も上がらず、快適に歩くことができました。

久伊豆神社のきれいに清められた参道、縛られ狛犬が印象的でしたが、「かごの屋」の美味しいランチで大満足。その後の香取神社の奥殿で感動的な彫刻に出会いました。

庶民の労働作業のなかに洗い張りをしている彫刻でした。

私の祖父は染め物、洗い張り、紋描きの職人でした。裏庭で祖母と母が洗い張りをし、明るい窓ぎわで極細筆で紋付の家紋を描く祖父の姿は子供の頃の日常の風景でした。

久しぶりに懐かしい感覚が戻り日光街道歩き満喫しました。万歩計は1万7千歩お疲れ様でした。



久伊豆神社の藤棚下で